

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-150699
(P2003-150699A)

(43) 公開日 平成15年5月23日 (2003.5.23)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 4 5 0 2	G 0 6 F 17/60	1 2 4 5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2001-352920 (P2001-352920)

(22) 出願日 平成13年11月19日 (2001.11.19)

(71) 出願人 000221018

東芝エンジニアリング株式会社
神奈川県川崎市幸区堀川町66番2

(72) 発明者 高岡 和

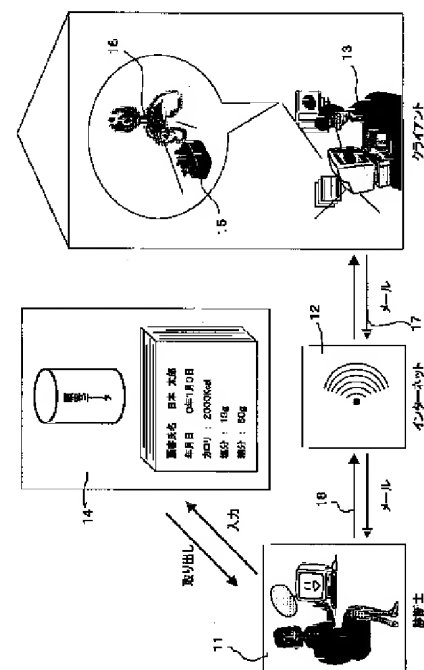
神奈川県川崎市幸区堀川町66番2 東芝エンジニアリング株式会社内

(54) 【発明の名称】 インターネット診断システム

(57) 【要約】

【課題】生活習慣病による食事制限中の患者、ダイエット中の人、乳幼児の食事悩んでいる母親が食事内容などについて適切かつ手軽に専門家の助言を得ることは困難であった。

【解決手段】栄養士、医師、レススプロがインターネット上にホームページを開設する。これらの専門家からなる診断士と契約したクライアントは、自分の食事内容やゴルフスイングをデジタルカメラで撮影し、この画像を診断士へ送信する。診断士は送られた画像に基づいて各クライアントの食事内容やスイングフォームを分析して適切な助言をクライアントに返信する。遠隔地のクライアントや時間的余裕のないクライアントであっても、適切な分析結果や助言を得ることが可能となった。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 専門家によりインターネット上にホームページが開設され、クライアントは前記専門家と契約を締結し、前記クライアントは自己の希望する内容に関連する事項をデジタルカメラで撮影し、この撮影画像を前記インターネットを介して前記専門家へ送信し、専門家は前記クライアントから送信された画像に基づきクライアントの希望する内容に関して分析結果や助言を返信するように構成したことを特徴とするインターネット診断システム。

【請求項2】 前記専門家は栄養士あるいは医師であって、前記クライアントは食事に関して分析、助言を希望している人であって、前記クライアントは前記デジタルカメラにて食事内容を撮影してこの画像を前記専門家へ送信することを特徴とする請求項1記載のインターネット診断システム。

【請求項3】 前記専門家はレッスンプロなどのスポーツ指導者であって、前記クライアントは自己のフォームを撮影し、この撮影画像を前記専門家へ送信することを特徴とする請求項1記載のインターネット診断システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、食事内容やゴルフスウィングなどの診断助言を行うことを可能としたインターネットビジネスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、糖尿病や高血圧などいわゆる生活習慣病と言われる患者が多くなっている。病気と認定された人だけでなく、放置しておく病気に至るおそれがある生活習慣病予備軍の存在まで加えると、極めて多数の人々が対象となっており、社会的問題となっている。病気と診断された患者にとっては、各種治療の一つとして食事療法が大切なものとなっている。しかしながら、毎日の食事内容を全て記憶して、個々の食品からカロリーや塩分などを計算するためには、高度な専門知識を必要とするばかりでなく、精神的な負担も大きくなる。

【0003】特に、仕事上の都合により外食が多い人、旅行の好きな人、会食の機会が多い人にとっては、食事の内容を全て記憶しておくことや、メモに残すことはわずらわしく、また回りの人にも知られることとなり、これらの行為を実行することは不可能といっても過言ではない。また、出された食品のカロリーや塩分をその場で計算して食べるものと食べないものを取捨選択することも素人では困難である。

【0004】ダイエットを行っている人にとっても、毎日の食事制限を行ってカロリー摂取量を減らすことが必要となるが、外食するたびにその日に食べたものが何であったか、カロリーをいくら摂取したかなどを克明に記録することは困難である。従って、これらの人たちにと

っては、食事の後、できるだけ早く採取したカロリーや塩分、栄養素などを知り、翌日以降の食事の量、内容に反英して1週間、1ヶ月の総量をコントロールしていくことが肝要となる。

【0005】然るにこれらの作業を行ってくれる専門家が身近に居ないことや、時間的な余裕がないこともあって、その日に食べた内容を置き去りにして翌日以降に再度過多のカロリーや塩分を採取してしまうことが多い。また、幼児を抱えた母親にとって幼児に与える食事が適正なものなのか、食べ物の偏りはないか、不足している栄養素はないかなどが気になるが、身近に相談する専門家がいなかったり、仕事をもっているために時間がないなどの理由から、一人で悩み、最悪の場合育児ノイローゼになることもある。

【0006】また、ゴルフなどの各種スポーツの技術向上を目指す人にとって、自分のフォームが基本通りとなっているか、どこか欠陥がないかなどと悩むことが多い。しかし、スクールなどに通って専門家のレッスンを受けるには時間的な余裕がなく、また金銭的にも負担となるためフォームを矯正することができない場合が多い。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】食事内容の選択、分量などが重要な要素となる治療中の患者、ダイエット中の人、幼児の育児に携わる母親にとっては、自己の判断に自信がなくなったり簡単に専門家の助言を得ることが困難であった。また、ゴルフなどの技術向上を目指す人にとっても、日常的に自分のフォームの欠陥を指摘してもらいフォームの矯正を図ることには種々の困難が生じていた。

【0008】本発明は、近年特に普及してきたデジタルカメラとインターネットを用いて、糖尿病や高血圧、脂肪肝などの生活習慣病患者、ダイエットを行っている人、幼児を抱えた母親など、食生活の管理を必要とする人たちに、専門家による食事内容の分析結果や助言を与えることを特徴とし、更にゴルフなどの技術向上を目指す人にも同様な方法で専門家の助言を与えることを特徴とするインターネットビジネスシステムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明に係わるインターネット診断システムは、専門家によりインターネット上にホームページが開設され、クライアントは前記専門家と契約を締結し、前記クライアントは自己の希望する内容に関連する事項をデジタルカメラで撮影し、この撮影画像を前記インターネットを介して前記専門家へ送信し、専門家は前記クライアントから送信された画像に基づきクライアントの希望する内容に関して分析結果や助言を返信するように構成したことを要旨とする。

【0010】更に本発明に係わるインターネット診断シ

システムは、前記専門家が栄養士あるいは医師であって、前記クライアントは食事に関して分析、助言を希望している人であって、前記クライアントは前記デジタルカメラにて食事内容を撮影してこの画像を前記専門家へ送信することを要旨とするインターネット診断システム。

【0011】更に本発明に係わるインターネット診断システムは、前記専門家がレスンプロなどのスポーツ指導者であって、前記クライアントは自己のフォームを撮影し、この撮影画像を前記専門家へ送信することを要旨とするインターネット診断システム。

【0012】

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施の形態を図1を用いて説明する。栄養士、医師あるいはゴルフなどのレスンプロ（以下診断士という）11は、インターネットウェブサイト12を開設する。一方、生活習慣病を患っている患者、ダイエット中の人、乳幼児を抱えた母親、ゴルフなどのスポーツ愛好家などのクライアント13は、診断士11と情報提供に関するクライアント契約を締結する。この際、診断士11の顧客データベース14に各クライアント毎の病状、現状体重、希望体重、育児条件、ゴルフの履歴や現状技術など、クライアント固有の各種データを保管する。診断士11は、このデータベース14を利用して以後の各クライアント13から送信されてくる画像データから適切な分析、助言を行うことができる。

【0013】クライアント13は毎日食べた食事の内容（例えば皿に盛られたオムレツ）15をデジタルカメラ16で撮影する。ゴルフ愛好家は自分のスイングフォームを同じくデジタルカメラで撮影する。このようにデジタルカメラで撮影した食事内容やスイングの画像をインターネットメール17にて診断士11へ送信する。デジタルカメラは専用のものでもよいが、携帯電話との一体型や腕時計タイプのものであれば小型で使いやすく、他人に知られることなく撮影できるため一層便利である。また、カメラとしては静止画でもよいが、動きのあるデジタルビデオ画像であってもよい。

【0014】診断士11は、送信されたデジタルカメラの映像データを基にカロリー、塩分、栄養素、スイングフォームなどのクライアントの要望に応じた分析や計算を行い、一定時間内（例えば24時間以内）にその結果と助言を添えてインターネットメール18により返信する。クライアント13は、返信された分析結果や助言に基づいて以後の食生活や育児、スポーツ練習の改善を図ることができる。

【0015】以上のようにして、クライアント13は食

事の内容を記憶したり、メモなどに記録することなく、単にデジタルカメラで食事内容を撮影し、そのままインターネットで送信するだけで、正確なカロリー量や塩分の摂取量を把握することが可能となる。更に、クライアント13は自宅にいながら簡単な食生活管理が確実に行えることとなる。同様にクライアント13がスポーツ愛好家の場合には、自己のスイングなどのフォームを専門家によって矯正助言を受けることができる。このようにわずらわしいこともなく、クライアント13の食生活管理などが確実に行えるようになった。

【0016】なお、契約締結時に診断士の守秘義務を確約しておけば、情報交換はクライアント11と診断士13のみで行われるためデータが他に漏洩する心配がなく、クライアント13のプライバシーが守られる。

【0017】クライアント13は、デジタルカメラデータに基づく診断士からの各種分析、助言を受ける対価として、契約内容に応じた料金を診断士に支払う。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば、生活習慣病に悩んでいる人や、ダイエットをしている人、乳幼児の食事に悩んでいる母親など、食生活を管理しようとしている人がデジタルカメラとインターネットを用いることによって、専門家から食事に関する信頼性の高いデータを容易にかつ安価に入手できるため、これらの人たちが他人に知られることなく安全かつ確実に食事管理を実行できる。

【0019】また、ゴルフや野球などスポーツ愛好家に関しても、自分のフォームをデジタルカメラに撮影して専門家に送り診断してもらうことによって自宅で簡単に自己鍛錬が可能となる。これらの方法は全て既存のデジタルカメラ（デジタルスチールカメラ、デジタルビデオカメラ）と通信方法（インターネット）を用いて行うため、新たに開発を必要とする要素がないため、ビジネスを開始するにあたって多大の資金を必要としない利点もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態を説明するための構成図。

【符号の説明】

- 11…診断士
- 12…ホームページ
- 13…クライアント
- 14…データベース
- 15…食事
- 16…デジタルカメラ
- 17、18…インターネットメール

【図1】

